

導入事例:テンキー付データコレクタ BW-220CB

日本出版販売株式会社 図書館選書センター様



日販図書館選書センター様は、日本の出版物の取次最大手企業である日本出版販売株式会社（日販）によって運営されている、学校図書館・公共図書館を対象とした学校司書・司書教諭・図書館司書のための選書施設です。

今回は、アイメックスのテンキー付データコレクター「BW-220CB」を導入する事によって、利用者サービスの向上と、大幅な業務改善を実現した同センターの導入事例をご紹介します。
図書館営業部 図書館選書センター コンシェルジュの佐藤様にお話をうかがいました。



日販図書館選書センター 佐藤様

■このセンターの特長をお教えてください。

学校図書館、公共図書館を対象として常設された学校司書・司書教諭・図書館司書向けの選書施設です。

図書館と同じ「日本十進分類(NDC)法」に基づいて並べられた3万冊規模の図書見本を実際の展示イメージで閲覧することができ、センターを訪れる利用者の理想の図書館づくりをサポートしています。

書店ではなかなか見ることのできない図書の現物を揃えていますので、実際に内容を確認していただいた上で購入を検討していただくことができます。

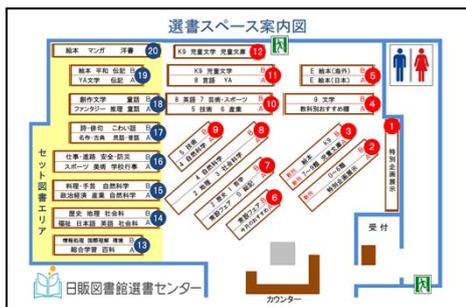
■センターのオープンはいつでしょうか？

2016年12月にオープンしました。

■このセンターはどれ位の方に利用されていますか？

2018年4月から2019年3月までの1年間の実績で、約1,300の図書館の方においでいただきました。

1日に最大で80館まで対応可能なのですが、すべて予約で埋まってしまう日もあります。





■導入前の課題と、導入のきっかけについてお聞かせ下さい
センターがオープンする前は、弊社が運営している図書展示会と同じように、利用者の方が図書を選ぶ際、本には含まれた短冊を抜き取る方式を採用する予定でした。

この図書展示会では、購入予定図書に挟み込まれている短冊を利用者が抜き、その束を受付カウンターに持ってきていただき、受付で注文書を作成する、という流れでした。受付担当者は短冊に付いたバーコードを1件ずつ読み取って注文書を作成・プリントし、利用者に渡すという形で運営をしていたのですが、

- ・図書の選定中に合計金額がわからない(予算との比較をしながら図書を検討できない)
- ・注文書の作成に時間がかかり、待ち時間が長い

というような利用者からのお声があり、さらに短冊は、利用者が書き込みをしたり、お持ち帰りいただいておりますので、補充作業が頻繁に発生し、その手間とコストの削減も運営側の大きな課題でした。

これらの課題を解決すべく、Slerの日販コンピュータテクノロジー株式会社様による機種選定とシステム設計が行われ、導入に至りました。

■データコレクター「BW-220CB」の導入規模をお教えてください
50台導入しました。

そのうちの40台を午前と午後に分け、1日に最大80館の利用が可能になっています。

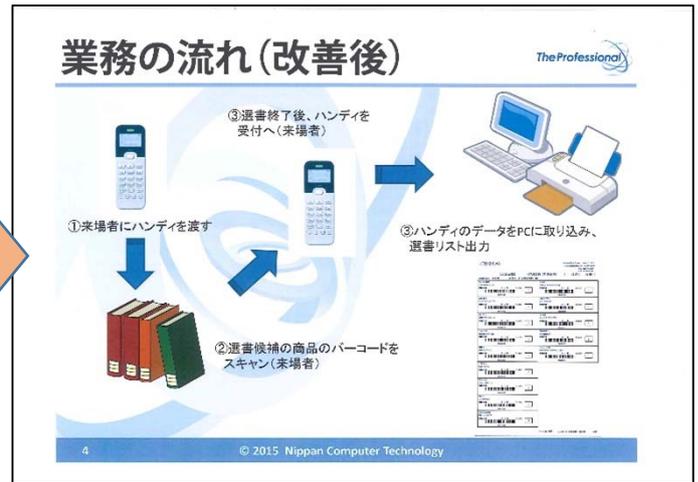
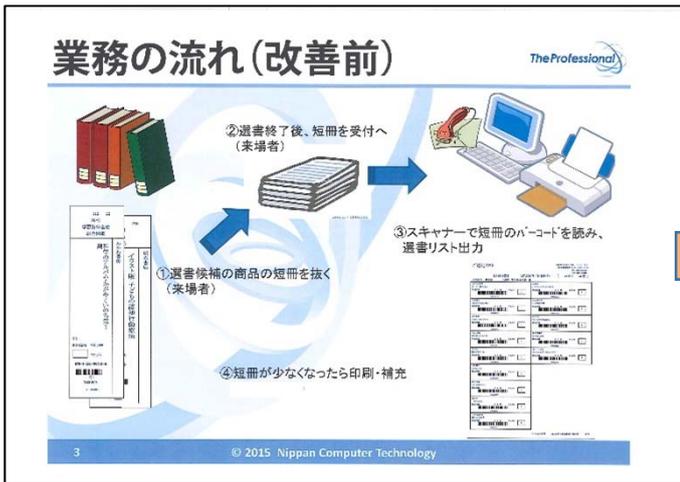
■使用開始はいつからですか？

このセンターがオープンした2016年12月に導入し、稼働を始めました。

■導入後、業務はどのように変わりましたか？

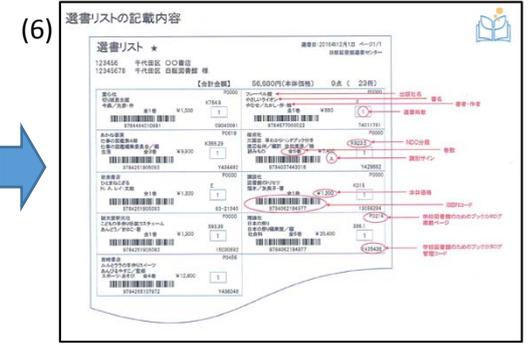
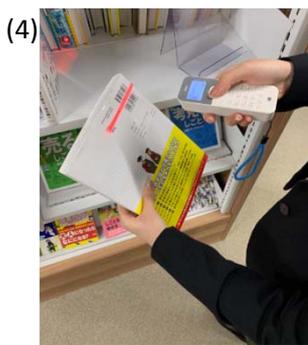
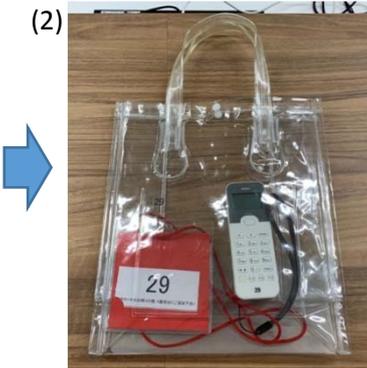
また、本システムに関する利用者のお声がありましたらお聞かせ下さい

これまで使用していた短冊を完全に廃止して、データコレクターを使用する方式に変更しました。



選書の流れ

- (1)(2)利用者の方に受付でBW-220CBを渡す
- (3)(4)利用者の方は館内の蔵書を自由に閲覧し、購入予定の書籍の図書バーコードを読み取る
- (5)(6)終了後、BW-220CBを受付に返却し、選んだ書籍一覧をプリントアウトする



BW-220CBにはアイメックス社で開発した専用のアプリケーションを搭載しています。操作手順としては、選定した書籍JANコード上下二段のバーコードをBW-220CBで読ませ、冊数を入力します。また、必要に応じて個別の識別フラグも入力することができますので、利用者は「後で検討する」「念のため選書した」などの確認が可能です。書籍JANコードの下段には価格情報が入っており、これを読み取ることにより、価格情報を取得し、冊数と合計金額を確認する画面を作りました。これにより、書籍を選びながら、今、予算に対してどれくらい選定しているかがその場で把握できるため、利用者の方に大変喜んでいただいています。

日版図書館選書センターご利用の流れ

1 図書を選びます

- 選書スペースの図書は新刊・既刊・セットの3つのエリアでNDC分類を基本に表示しています。
- 表示している図書は貸本図書です。この場での購入はできません。
- 選書スペース内の椅子やテーブルは自由に使用いただけます。
- ご不明な点はスタッフにお問い合わせください。

2 選書した図書を登録します

- ハンディ端末でバーコードを読みながら選書を進めます。
- 単品は裏表紙を読みます セットは標のカードを読みます

3 選書リストを作成します

- 選書が終了したら選書リストを作成します。ハンディ端末をスタッフにお渡しください。
- 選書リストをご提供しますので内容をご確認ください。

4 発注します

- 選書いただいた図書は日版王子流通センターへ発注しお取引先の書店様を通じて図書館様へお届けします。
- 選書リストを持ち帰り、お取引先の書店様へ発注していただくこともできます。

日版図書館選書センター

選書用ハンディ端末操作ガイド

基本操作は、①バーコード1段目を読み取り②2段目を読み取り③enterボタン④enterボタンです。

登録完了!

① バーコード1段目を読み取り
読み取りキーを押しながらバーコードの1段目を読み取ります(書名・書誌情報を読み)

② バーコード2段目を読み取り
読み取りキーを押しながらバーコードの2段目を読み取ります(本体価格情報を読み)

③ 識別コードを入力
選書図書に区別をつけたい場合、アルファベットを2文字まで入力できます
※必要ならば(Clear)を押して進む

④ 選書冊数を入力
複数冊数を選択したい場合、テンキーで数字を入力し(Clear)を押す
※必要ならば(Clear)を押して進む

※必ず(Clear)を押して①の画面に戻り選書を進めてください

選書金額合計の確認
最初の入力画面でF1キーを押すと、現時点での選書冊数、選書金額の合計を確認できます

読み取りキ、enter、電源スイッチ(長押し)、clear

■入力した識別コードは選書リストに表示されます。「選んだ人を区別したい」、「後で検討したい」と選書リスト上で区別をつけたい場合にご利用ください。
■入力した図書は、選書リスト出力後でも取消・修正することができます。
■操作が分からなくなってしまう時は、何度か(clear)を押すと①の画面に戻すことができます。
■画面が消えた場合には、電源スイッチを長押ししてください。作業中の画面が表示されます。

ご不明な点がございましたら、スタッフまでお気軽にお尋ねください。



PCへの入力作業が一瞬で完了!

また、BW-220CBはハンディターミナルと比較して小型軽量で持ち易く、キーの数も少ないため、利用者の方にもシンプルで分かり易く、操作し易いと評判です。初めて操作する方は多少慣れが必要ですが、次回来場からは問題なく操作できています。ハンディターミナルと比較して端末の価格が1/3程度と安価なことも弊社としては魅力的でした。データのPCへの吸い上げも一瞬にして完了しますので、もうひとつの課題だった受付での集計の待ち時間が大幅に短縮できました。

消耗品のコストが大幅に削減!

■導入されたことによる御社の業務メリットをお聞かせ下さい
導入によって運営側の弊社の課題も解決しました。短冊の印刷補充がなくなりました。また、受付から選書リストのプリントアウトまでの時間が激減しました。これによって空いた時間でサポートを手厚くすることにより、利用者へのサービス向上につなげています。また、短冊用紙が不要となった分のコスト削減も大きいです。

■今後の課題はありますか?

常設のこのセンター以外に、全国各地で同じ展示会を開催しています。(春:50箇所、秋:10箇所)
この展示会は以前の短冊方式で行っており、BW-220CBを導入したいのですが、必要となる台数が把握できないため導入には至っていません。
選書センターは予約制なので、BW-220CBの台数以内に予約人数を調整することが可能なのですが、展示会は同日に数ヶ所で開催することもあり、その日に何人いらっしゃるかが分からないため、相当な台数を用意する必要があります。
良い運営方法が見つかればこちらへの導入もしたい、というのが課題です。





簡易アプリ設定ツール「AiBuilder」



標準アプリ画面サンプル

■ アイメックスへのご要望がありましたらお聞かせ下さい
導入して2年以上になりますが、これまでにトラブルもほとんどなく、大変満足しています。

今後は蔵書の棚卸しにもBW-220CBを使用したいので、相談に乗って下さい。

■ 今回は御社向けに専用のアプリケーションを作成しましたが、BW-220には「棚卸」「入出荷」「照合」等を始めとした様々な業務で利用可能な標準アプリケーションを標準搭載しています。

この標準アプリケーションは無償提供の簡易設定ツール「AiBuilder」を使用して、お客様が自社の仕様に合わせて自分で設定変更することが可能です。

これを利用いただくことにより、棚卸等にも転用することが簡単にできます。

図書館での蔵書点検用の端末としても最適と思います。

それは良いことをお聞きしました。

是非、使ってみたいと思います。

■ ありがとうございました。

<関連リンク>

■ テンキー付次世代型データコレクタ BW-220シリーズ

<https://www.aimex.co.jp/product/bw-220series>

■ 日販図書館選書センター

<https://sensho-c.jp/>